

ボランティアセンターだより

北摂ふれあい広場実行委員会結成 みんなの力で成功させよう

豊中ふれあい広場実行委員会の初会合が六月十二日
福祉会館で開催されました。

ふれあい広場とは、大阪ボランティア活動推進府民会議の行う「ボランティア週間」事業の一環として北摂七市三町で協力しながら当番市を決めて毎年行っているものです。

ふれあい広場とは、正しい理解は、ふれあいから生まれる。との考えに立ち、障害者(児)や老人、地域住民、ボランティア等が共に手をとりあい、語り合い、ふれあいの輪を広げ、障害



豊中ふれあい広場実行委員会

「遠くの親戚より近くの他人」という言葉があるが、まさしく今日はこの言葉のとおり之感がある。

最近、独り暮らしのお年寄りとお会いしたときに「おばあちゃん、一番身近にいらつしやる親戚の方は、どちらに住んでおられますか。」という問いに「ニューヨークです。」という答えが返ってきたのは驚いた。まさしく国際化社会日本の世相といえよう。

高齢化社会が唱えられ、要介護老人の増加が予測される昨今、近くの他人に何ができるのかが大きく問わ

声

お年寄りの介護・身の周りの世話・買物等々サービスは、数かぎりなくあるでしょう。

しかし、近くの他人にできることは、ただ単に行政の替わりにサービス提供を行うだけでなく、他人ごととしてではないこの問題を一緒に考え、時には声を上げて実態を知らせていくことにあるのではないかと、ボランティア活動の広がりが、福祉の理解者の広がりにつながることが一番大切ではないか。

(T・N)

ふれあい広場

日時：平成元年12月2日(土)
午後0時から4時
場所：豊中市市民会館 淳氏
内容：講演 浜村 淳氏
・観音寺(ボランティア・福祉・絵画)
・体験コーナー(車イス・7人バス)
・ビデオ上映 展示即売会
等...盛・だ・く・さん
ふれあいてご参加下さい



グループ紹介をするボランティアリーダー

今回は、「地域に根ざしたボランティア活動」をテーマに五回シリーズで受講生は四十三名でした。

今回の講座特徴は、従来の「ボランティア活動の心構え」、「福祉施設の現状」等の話しに加えて、「人間理解のアプローチ」話し方、聞き方として簡単なカウニング技術や学びました。また、最終日には市内のボランティアグループによるグループ紹介が行われ

「受講生の声」
ボランティア活動とは、まず体験してみることが大切なんだということがわかりました。
人とお話することの難しさを感じました。

「一度かぎりの人生だから、仕事仕事の生活から開放されたいという気持ちをやってみよう。」「これがボランティア活動のきっかけになった。それは、昭和が平成に変わって私にとっては、平成元年イコールボランティア元年となった。週に二回、医療センターへの車で送迎ボランティア活動がはじまった。

彼は、ボリオの後遺症で自力歩行も非常に困難で、文化住宅の二階に住んでいる彼にとっては、階段の昇降が難関である。

階段に尻をついて、一段ずつ滑り降りる姿に唖然とした。お恥ずかしいことだが、初めての経験だった。

ある日「立つて降りる」と彼は宣言した。彼のプライドがそうさせたのである。杖と手で階下を降りたとき、思わず拍手を送った。この成功は本当にうれしかったので医療センターで

ボランティアはいまパート1

誇らしげに彼の努力の成果を語った時、「危ないことは困る。」「これがセンターからの返事だった。だが、私にはわからない。必ずで手すりを持ち、力一杯杖をつき、手足を震わせながら頑張った成果なのに。」「その現場でその感動を味わったもののみが素直に拍手を送れるのであるか。これがボランティアの良さなのだろうか。

ボランティア半年で得たことは、感動である。現代社会では、感動できることが本当に少ない。妙に白々とした世相だ。「他人」とどこか誰かがするだろう。「自分には関係ない。」「思いやりや人間愛に欠けた社会だからこそ感動が必要とされる。ボランティアは、それを教えてくれる。得たためには先ず与えることだ。及ばずながら一人力んでいる私である」

(H・M)

ボランティアスクール修了

平成元年五月十三日(火)から七月十八日(火)にかけて市社協ボランティアセンター恒例のボランティアスクール入門講座が実施されました。

六グループの代表者が熱っぽく活動紹介をしました。最後に四條隆子先生より「講座を受けて終わるものではなく、講座で得たものは是非地域で活かして欲しい。」

「ボランティア活動は、家庭を大切にしながら無理のない範囲で行うのが基本。」「聞き方として簡単なカウニング技術を学びました。」「ボランティア活動へのスタンスとしてのスクール修了式が終わりまし。

当日は、協力校の校長先生をはじめ、生徒指導の担当教諭や、校区福祉委員会の会長、大阪府社会福祉協議会の職員、市社協事務局等総勢四十名が集まり、ボランティア協力校の趣旨について

【平成元年ボランティア協力校指定】

学 校 名	校 区 名
原田小学校	原田
第七中学校	庄内西
第十中学校	野田
第十三中学校	大池
庄内南小学校	庄内南
少路小学校	少路・北緑丘
東豊台小学校	東豊台
第十八中学校	池田
第十六中学校	北条
新田南小学校	上新田

*印は、市社協単独指定分です。

より「地区福祉委員会と学校の繋がりが、より親密になってきた。」「子供たちが地域に関心をもちようになった。」「等いろいろ報告がなされていた。

豊中市は、大阪府下で最も「ボランティア協力校」が多く、過去にも様々な実績が積み上げられていて、今年も各校の活動に期待が寄せられる。

子供たちの福祉の町づくりに期待

六月九日(金)に市立福祉会館で、「ボランティア協力関係者会議」が開催されました。

子供たちの福祉の町づくりに期待

六月九日(金)に市立福祉会館で、「ボランティア協力関係者会議」が開催されました。

子供たちの福祉の町づくりに期待

六月九日(金)に市立福祉会館で、「ボランティア協力関係者会議」が開催されました。

子供たちの福祉の町づくりに期待

六月九日(金)に市立福祉会館で、「ボランティア協力関係者会議」が開催されました。

子供たちの福祉の町づくりに期待

六月九日(金)に市立福祉会館で、「ボランティア協力関係者会議」が開催されました。

ボランティア活動総合補償制度のご案内

加入対象	加入金	出 金	保険期間
ボランティア活動に参加する方	年間1名 300円	年間1名 1000円	年間1名 150円
府下、地域を対象として有償活動を行っている団体	年間1名 1000円	年間1名 1000円	年間1名 150円
地域で活動している子供を中心としたグループ	年間1名 1000円	年間1名 1000円	年間1名 150円
ボランティア保険の加入対象になるグループ、団体が主催する行事	年間1名 1000円	年間1名 1000円	年間1名 150円

毎年4月から翌年3月31日までの1年間
(途中加入の場合、毎月1日、10日、20日から登録)

介護者援護
ボランティアグループ

小さな手

手作りの介護用品等を通してねたきり等老人介護者(家族)の会を援助するボランティアグループとして今年の4月より発足しました。

大きなことはできないが手を使って少しでもお役に立ちたいという思いから会のメンバーの一人が「小さな手」と名付けました。

今までに、お年寄りの食事時に使って頂く「まえかけ」を作成し、介護者の方々に大変喜んでいただきました。

【定例会】 毎月第3木曜日
午後1時30分～3時30分
(於：市立福祉会館)

*現在、使用している生地は、リサイクルを基本としています。
ご家庭で不要の生地や、ビーズ等がございましたら、市社協ボランティアセンターまでご連絡下さい。



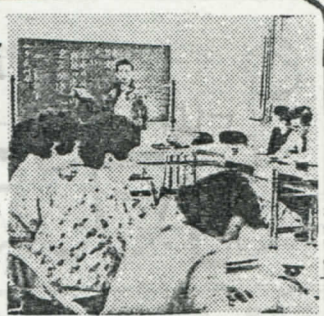
テーマソング「ひとりの手」を聞きながら二部式の履き作りをする。

電話相談
ボランティアグループ

聴くの会

市内で、悩みごと話相手が欲しい方を対象に電話相談をするためのグループを結成しました。
相手の話を十四の心で聴くということから「聴くの会」という名前にしました。

今年度は、話の聴き方や福祉制度等について勉強会を中心に活動しています。



「電話相談とは・・・」むずかしいなあ?

【定例会】 毎月第4木曜日
午前10時～12時
(於：市立福祉会館)

*話し方や、カウンセリングの講座を受けた方大歓迎

市社協登録ボランティアから

いろんなグループが

誕生しています。

～善意の仲間を求めています。～



送迎(車、バイク等)ボランティアグループ

みちしるべ

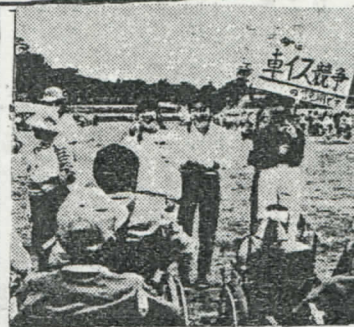


車イス介助の練習もしています。

【定例会】 毎月第4木曜日
午後1時30分～3時30分 (於：市立福祉会館)

現在、お年寄りや障害児(者)等からのボランティア要請の最も多い送迎(通院介助・リハビリ介助・通学介助・ガイドヘルプ等)の課題をグループで介助方法を勉強しながら、活動を通しての感動を分かちあい、楽しくチームプレイで援助しています。

グループ名は道先を案内することから「みちしるべ」になりました。



障害者の運動会でも大活躍!

個人ボランティア

個人登録の方も1～2カ月に一回程度ボランティアセンターより送られてくる「ボランティア募集情報」の中から自分にできる活動を選んで行事のお手伝い、家事援助、地域でのお手伝い等いろいろな活動で活躍しています。



ご関心のお有りの方は、
ボランティアセンター(☎841-931)まで

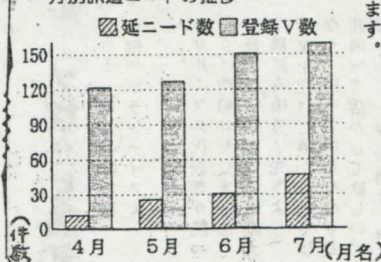
Vレポーター訪問記

六月二十一日ねたきり等老人介護者家族の会の役員の方々と共に市内で要介護老人向けに初めて設立された「北条デイサービスセンター」を視察して参りました。



このセンターの目的は、在宅虚弱老人等を対象に通所により各種のサービスを提供し、当該老人の生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図り、その家族の身体的・精神的な負担の軽減にあり、職員構成は、施設長一名、指導員三名、看護婦一名、嘱託医一名になっております。この施設を見学し、説明を伺い一番驚いたことは、養護室・訓練室・シャワー室等に加えてカラオケ設備まで

月別派遣ニーズの推移



ボランティヤ
登録・派遣ニーズの推移
昨年よりスタートしたボランティアの登録派遣制度も少しずつ定着してまいり、七月末現在でボランティアの数も約百六十名に達し、派遣の約二百六十件となり昨年のこの時期の約二倍になっています。今後とも、皆様のご協力をよりよくお願い申し上げます。

ボランティヤの広場

福祉の町づくり講座
各地で開催

市社協では、希望された校区福祉委員会(おおむね小学校区単位で結成)と協力しながら次のとおり福祉の町づくり講座を実施いたします。

刀根山・大池校区社協共催
日時 平成元年九月二十二日(金)から十月十三日(金)の毎金曜日四回コース

場所 刀根山小学校
内容 「ボランティア活動をはじめるにあたって」「登中の福祉の現状」等

泉丘校区社協主催
日時 平成元年九月二十八日(木)・十月十二日(木)・十月二十六日(木)・十一月九日(木)

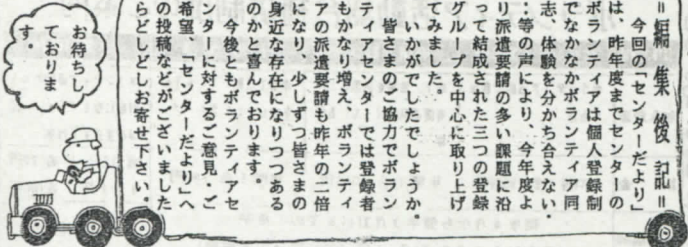
中島島校区社協主催
未定

場所 泉丘公民分館
内容 「老人の介護と心構え」「登中市の老人福祉」等

核線校区社協主催
日時 平成元年十月十二日(木)・十月二十五日(木)・十一月九日(木)・十一月二十二日(土)

場所 福祉会館三階
内容 「あなたにもできるボランティア活動」(これからの地域福祉)等

申込 市社協ボランティアセンター(☎841-931)へご連絡いただきますが、各地域の役員まで(後日、各地域の回覧等で詳細は掲載予定)



お待ちしております